

**資料 1**

**安曇野市子ども・子育て支援事業計画**

～ 令和3年度 事業報告 ～

# 子ども・子育て支援事業計画

## 1 「幼児期の教育・保育」について <所管課：こども園幼稚園課>

【令和3年度（計画）】

[単位：人]

項目	保育認定	1号		2号		3号	
	保育の必要性	なし		あり		あり	
	年齢区分	3-5歳 教育のみ	3-5歳 幼稚園利用	3-5歳 保育利用	1・2歳	0歳	
① 量の見込み		578	0	1,649	610	83	
② 確保内容（受入施設）	確保内容（受入施設）	578	0	1,649	610	83	
	教育・保育施設※	535	0	1,643	485	46	
	認可外保育施設	43	0	3	5	3	
	地域型保育事業	-	-	-	95	28	
	事業所内保育	0	0	3	25	6	
③ 過不足（②-①）		0	0	0	0	0	

※教育・保育施設（保育所・幼稚園・認定こども園）

【令和3年度（実績）】

[単位：人]

項目	保育認定	1号		2号		3号	
	保育の必要性	なし		あり		あり	
	年齢区分	3-5歳 教育のみ	3-5歳 幼稚園利用	3-5歳 保育利用	1・2歳	0歳	
① 量の見込み		497	6	1,668	559	144	
② 確保内容（受入施設）	確保内容（受入施設）	497	6	1,668	509	97	
	教育・保育施設※	480	6	1,658	414	68	
	認可外保育施設	17	0	10	0	1	
	地域型保育事業	0	0	0	83	20	
	事業所内保育	0	0	0	12	8	
③ 過不足（②-①）		0	0	0	△50	△47	

※教育・保育施設（保育所・幼稚園・認定こども園）

### 【実績からの考察及び今後の検討課題】

3歳以上児に係る幼児期の教育・保育ニーズに対する確保内容については、不足なく確保されているものの、3歳未満児に係る保育ニーズは増加傾向にあり、待機児童が発生している状況である。

こうした状況に対応するため、令和4年度も令和3年度に引き続き、小規模保育事業所の新規設置を行い、受け皿の確保を図っていききたい。

## 2 「地域子ども・子育て支援事業」について

### (1) 妊婦健康診査

<所管課：健康推進課>

[単位：人回/年]

項目	令和3年度 (計画)	令和3年度 (実績)
① 量の見込み	7,592	6,342
② 確保内容	7,592	6,342
③ 過不足 (②-①)	0	0

#### 【実績からの考察及び今後の検討課題】

令和3年4月～令和4年3月の実績（県外受診含む）

妊娠届出時に、全ての妊婦に対して妊婦一般健康診査受診票を交付している。母胎の健康保持を図るため、妊婦健診の定期受診についてすすめていく。

### (2) 乳児家庭全戸訪問事業

<所管課：健康推進課>

[単位：人/年間]

項目	令和3年度 (計画)	令和3年度 (実績)
① 量の見込み	638	521
② 確保内容	638	521
③ 過不足 (②-①)	0	0

#### 【実績からの考察及び今後の検討課題】

健康推進課保健師又は在宅助産師・保健師が、出産後、全ての家庭に連絡し、全戸訪問できる体制を整えているが、里帰り出産や長期入院のため訪問できない家庭や、新型コロナウイルス感染への懸念から訪問を希望しない家庭があった。里帰り出産に対しては、里帰り先へ訪問を依頼し、長期入院者や訪問を希望しない家庭に対しては、地区担当保健師が来所相談や電話連絡にて状況を把握した。

### (3) 地域子育て支援拠点事業

<所管課：子ども家庭支援課>

[単位：人回/年]

項目	令和3年度 (計画)	令和3年度 (実績)
① 量の見込み	19,485	11,771
② 確保内容	19,485	11,771
③ 過不足 (②-①)	0	0

#### 【実績からの考察及び今後の検討課題】

9か所の児童館において実施した地域子育て支援拠点事業には、合計11,771人が参加。開催回数は688回で1回の平均参加人数は、約17人であった。

新型コロナウイルス感染拡大防止のための休館により、9児童館で計290回の事業予定を中止した。今後はコロナ感染対策を講じた事業の実施が課題である。

### (4) 延長保育事業

<所管課：こども園幼稚園課>

[単位：人/年]

項目	令和3年度 (計画)	令和3年度 (実績)
① 量の見込み	1,173	487
② 確保内容	1,173	487
③ 過不足 (②-①)	0	0

#### 【実績からの考察及び今後の検討課題】

令和元年10月より施行となった幼児教育・保育の無償化に伴い、3歳以上児における保育必要量を標準時間認定(利用時間7:30-18:30)に変更する方が引き続き増加傾向にあり、延長保育事業を利用する人数は昨年度の490人と同程度となった。

しかし、標準時間認定で保育を受ける園児と、短時間認定と延長保育を組み合わせる保育を受ける園児とでは結果的には園を利用する時間に大きな変更が無い場合、延長保育の時間帯を担当する保育士の確保が今後の課題である。

## (5) 一時預かり及び幼稚園の預かり事業

<所管課：こども園幼稚園課>

### ① 幼稚園における在園時を対象とした一時預かり（幼稚園型Ⅰ）

[単位：延人／年]

項目	令和3年度 (計画)	令和3年度 (実績)
① 量の見込み	154	174
② 確保内容	154	174
③ 過不足 (②-①)	0	0

### ② 認定こども園等における一時預かり（幼稚園型Ⅰ・Ⅱ以外）

[単位：延人／年]

項目	令和3年度 (計画)	令和3年度 (実績)
① 量の見込み	2,813	2,253
② 確保内容	2,813	2,253
③ 過不足 (②-①)	0	0

#### 【実績からの考察及び今後の検討課題】

新型コロナウイルス感染症感染対策のため、利用自粛をいただいた期間もあり、令和2年度より幼稚園における在園児を対象とした一時預かりは16名減、認定こども園等における一時預かりは732名となったが、引き続き需要が高い状況が続いている。

当該事業が、待機児童に係る保育の受け皿として利用者が増加している状況が続いており、当該保育に係る保育士の確保が近々の課題である。

## (6) 病児・病後児保育事業

<所管課：こども園幼稚園課・子ども家庭支援課>

[単位：人日／年]

項目	令和3年度 (計画)	令和3年度 (実績)
① 量の見込み	521	47
② 確保内容	521	8
病児・病後児対応型	483	0
ファミサポ	38	8
③ 過不足 (②-①)	0	△39

### 【実績からの考察及び今後の検討課題】

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、事業受託者である安曇野赤十字病院の施設的な状況等を考慮し令和3年12月まで利用休止とした。令和4年1月から事業を再開としたがオミクロン株の感染拡大により受け入れが困難な状況となった。今後はコロナ禍における受入体制の整備が課題である。

## (7) ファミリー・サポート・センター事業 <所管課：子ども家庭支援課>

(就学前児童)

[単位：延人／年]

項目	令和3年度 (計画)	令和3年度 (実績)
① 量の見込み	915	1,006
② 確保内容	915	1,006
③ 過不足 (②-①)	0	0

(就学児童)

[単位：延人／年]

項目	令和3年度 (計画)	令和3年度 (実績)
① 量の見込み	1,047	213
② 確保内容	1,047	213
③ 過不足 (②-①)	0	0

### 【実績からの考察及び今後の検討課題】

令和3年7月から9月（陽性者第5波（デルタ（株）））、11月から令和4年2月（まん延防止対策期間）は新型コロナウイルス感染症の影響で、昨年度と比較して利用者の大幅な減少がみられた。子どもの習い事等の場合の援助、保護者の短時間・臨時的就労の場合の援助については年間を通して、一月に10件以上の支援が続いた。

なお、利用したい家庭への支援策として、利用額の2分の1（月額1万円限度）を助成制度で、申請件数は25件、前年比で4件の微増となった。さらなる利用拡大を図るため、委託機関とも協力して制度の周知を強化していくことが引き続きの課題である。

委託先との定期的な打ち合わせを実施し、実情を踏まえ、依頼会員及び協力会員ともにより多くの登録者を確保できるような体制の整備に努める。

## (8) 放課後児童クラブ事業

<所管課：子ども家庭支援課>

(低学年)

[単位：人/年]

項目	令和3年度 (計画)	令和3年度 (実績)
① 量の見込み	488	529
1年生	196	224
2年生	151	178
3年生	141	126
② 確保内容	488	529
③ 過不足 (②-①)	0	0

(高学年)

[単位：人/年]

項目	令和3年度 (計画)	令和3年度 (実績)
① 量の見込み	262	70
4年生	97	67
5年生	81	3
6年生	84	0
② 確保内容	97	70
③ 過不足 (②-①)	0	0

### 【実績からの考察及び今後の検討課題】

3月末時点での通年利用者の登録数は、全体で599人であった。

令和2年度までは1年生から4年生までを受入れ対象としていたが、6年生までの受入れ要望があることから、令和3年度は堀金児童クラブのみ5年生まで受入れ対象を拡大した。

また、令和4年度の募集については、堀金児童クラブと穂高北小児童クラブで6年生まで、三郷児童クラブの長期利用のみ5年生まで受入れ対象を拡大した。

利用希望者が毎年増えていることに加え、6年生までの受入れ拡大の要望もあることから、増員分の受入れスペースの確保が課題である。

## (9) 利用者支援事業

<所管課：健康推進課>

[単位：箇所]

項目	令和3年度 (計画)	令和3年度 (実績)
① 量の見込み	1	1
② 確保内容	1	1
③ 過不足 (②-①)	0	0

### 【実績からの考察及び今後の検討課題】

妊産婦及び乳幼児の実態を把握し、妊娠・出産・育児に関する各種相談に応じ、必要に応じた支援プランの策定や、地域の保健医療又は福祉に関する機関との連絡調整を行った。また、妊産婦及び乳幼児の健康保持及び増進に関する包括的な支援を行い、妊娠期から子育て期にわたるまでの切れ目ない支援を提供した。

新型コロナウイルス感染症の流行下で移動の制限もあり、実父母の支援が受けられず、夫婦2人で産後過ごす家庭が増加している。産後の支援者がいない方や、職場復帰を望む方の増加もあり、より安心して子育てができるよう関係機関との連携を深めながら、子育てしやすい環境を整え、助言、指導を実施していく。

## (10) 養育支援訪問事業

<所管課：子ども家庭支援課>

[単位：人/年]

項目	令和3年度 (計画)	令和3年度 (実績)
① 量の見込み	12	13
② 確保内容	12	13
③ 過不足 (②-①)	0	0

### 【実績からの考察及び今後の検討課題】

NPO 法人momomへ委託を行い、13件の家庭に対して、育児家事援助を149回実施した。前年度の家庭数9件、援助回数92回に比べ利用家庭数、援助回数ともに増加している。乳児家庭全戸訪問事業や母子保健相談、家庭児童相談において、支援の必要性が高い家庭の利用となっている。

## (11) 子育て短期支援事業

<所管課：子ども家庭支援課>

[単位：人日／年]

項目	令和3年度 (計画)	令和3年度 (実績)
① 量の見込み	115	45
② 確保内容	115	45
③ 過不足 (②-①)	0	0

### 【実績からの考察及び今後の検討課題】

松本赤十字乳児院と松本児童園の2施設に委託を行い実施した。2歳未満児の利用は24件、2歳以上児の利用は21件であった。前年度の2歳未満児47件、2歳以上児69件と比べ件数が減少している。これは新型コロナウイルス感染拡大により、年度途中で委託施設が受入を停止したことによる。受入停止中の緊急性の高い事案については児童相談所と連携し対応を行った。主な利用の理由は保護者の仕事や親子間のクールダウンとなっている。

## (12) 実費徴収に係わる補足給付を行う事業

<所管課：こども園幼稚園課>

[単位：人／年]

項目	令和3年度 (計画)	令和3年度 (実績)
① 量の見込み	12	12
② 確保内容	12	12
③ 過不足 (②-①)	0	0

### 【実績からの考察及び今後の検討課題】

生活保護世帯に係る実費徴収の補助事業については、生活保護担当と連携を図り、利用保育施設等において保護者が支払うべき日用品、文房具その他の教育・保育に必要な物品の購入に要する費用等について、遅滞なく給付することができた。

また、未移行幼稚園を利用する幼児教育・保育の無償化に伴う低所得者世帯および多子世帯に係る副食費の費用補助についても、給付を行った。

## (13) 多様な主体が本制度に加入することを促進するための事業

<所管課：こども園幼稚園課>

私立認可保育施設に対して、保育専門員等を派遣し必要な支援・相談を行った。

また、3歳未満児の増加する保育ニーズに対応するため、小規模保育事業の実施に係る施設整備について、公募により事業者を募集し、補助金を交付し参入促進を図った。

なお、令和4年度についても同様に小規模保育事業の設置運営を行う事業者を公募し、国・県の補助金を活用しながら、市として補助金を交付し、3歳未満児に係る保育の受け皿確保を行う予定である。